

# 英語科学習指導略案

日時 平成 29 年 12 月 19 日 (木) 3 校時  
 対象 1 年 5 組 男 12 名 女 14 名 計 26 名  
 指導者 教諭 松野 雄介

- 1 題材名 「Lesson 7 New Year」 (3 / 9)  
 2 ねらい 「いつ特別な食べ物を食べますか?」という問いについて、教科書を暗唱する活動を通じて、  
 答えの文に自分の考えを付け加えて、即興で会話を続けることができる。

- 3 実践研究 ～小・中学校 9 年間を見通した教育課程編成と学校間連携体制の実践研究～ との関わり  
 研究主題

目指す子ども像の具現化を図る小中一貫教育の実践研究  
 ～一人一人が自己有用感を持てる「分かる授業」の実践を通して～

- (1) 三内中学校区の目指す子ども像
- ・積極的、主体的に学習に取り組み、表現（活用）できる子ども
  - ・子ども同士の交流を通じて、思いやりを持った行動ができる子ども
  - ・健康で強い心と体をつくる子ども
- (2) 課題解決に向けた研究実践の具体的な取組  
 《参加意識と自己有用感を持てる「分かる授業」の実践》
- 学び合う協働的な活動の工夫について
    - ・ペアやグループ活動を通して即興で会話を続けることにより、主体的に英語を話す態度や自己表現力を身に付けさせる。また、その際に、グループの仲間が会話を聞き、相手を評価することによって、参加意識や自己有用感を実感させる。
  - 思考や気付きを促し、表現力を高めるための発問や指示の工夫について
    - ・ICT を用いたり、小学校での活動(ミッシングゲームやキーセンテンスゲーム)を応用しながら取り入れたりすることによって、表現活動の前に効果的に単語や英文を理解し、表現することができる。

4 展開 (小中一貫に関わる活動については、波線で記載)

段階	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	形態	評価・留意点
導    入	・ 12 月の歌を歌いましょう。	・ All I want for Christmas is you を歌う。	一斉	
	1 <u>時刻をたずねる表現を復習しましょう。</u>	1 <u>時刻を表す表現をチャンツで復習する。</u> ・ <u>What time, what time do you get up? At seven. At seven...</u>	一斉	・ <u>Hi, friends! P.25 のチャンツを用いる。</u>
	2 Talk&Talk P.35 で疑問詞 When を使った疑問文とその答え方を練習しましょう。	2 Talk&Talk で口頭練習する。 ・ A: When do you watch TV? B: あなたはいつテレビを見るの?	ペア	・ 2 人のうち、1 名は、英語を言い、もう 1 名は日本語に直す。
	3 前時に学んだ単語を復習しましょう。 (1) スライドに英単語を示す。 (2) 縦のペアで向かい合わせにさせ、後ろの生徒のみ、スライドが見ることができるようにする。 (3) <u>ミッシングゲームの指示を出す。</u>	3 スライドを見て口頭で単語練習を行う。 (1) <u>dish, special, meaning...</u> (2) 縦でペアを組み、ペアで英単語の確認を行う。 ・ A: (スライドを見て) dish B: 料理 (3) <u>ミッシングゲームを行う。</u>	一斉 ペア 一斉	・ <u>ミッシングゲームとは、複数の写真または英単語を時間内に暗記し、次のスライドに移った時に、1 枚だけなくなっている写真(英単語)を言う小学校の活動。</u>
展 開	4 学習課題を確認しましょう。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">ペアでミク役とベン役になって本文を暗唱し、2 人の会話の続きを自由に考えて、即興で会話を続けよう。</div>	4 学習課題を確認する。	一斉	

展 開	<p>5 教科書を暗唱しよう。</p> <p>(1) 教科書を範読する。</p> <p>(2) 2分間個人で音読させる。</p> <p>(3)・(4) 役割を決め、ペアで90秒間音読練習する。これを2回ずつ繰り返し返させる。</p> <p><u>(5) ペアの中に消しゴムを置かせ、教師の音読をシャドーイングする。教科書にない文を読んだ瞬間に消しゴムを取るように指示する。</u></p>	<p>5 教科書を音読練習する。</p> <p>(1) 教師の後に続けて読む。</p> <p>(2) 個人で音読練習する。</p> <p>(3) 合いの手 Reading 日本語版 ・ A: この食べ物なに? B: This is Osechi.</p> <p>(4) 合いの手 Reading 英語版 ・ A: What is this dish? B: This is Osechi.</p> <p>(5) <u>キーセンテンスシャドーイング</u> ・ <u>教師の範読をシャドーイングし、間違った英文を読んだら、シャドーイングを止め、ペアの間に置いている消しゴムを取る。</u></p>	<p>一斉 個 ペア ペア</p> <p>評価1 方法：机間指導、観察 相手の情報をもとに、英文を暗唱することができたか。</p> <p>対策：ワークシートで確認してもよいことを伝える。 ・合いの手 Reading は手掛かりとなる日本語や英語を相手が言い、それをもとに本文を暗唱する活動。 ・<u>キーセンテンスシャドーイングは小学校のキーセンテンスゲームを応用した活動。</u></p>
	<p>6 When do you eat special food?の続きを考え、ペアで即興で会話を続けよう。</p>	<p>6 When do you eat special food?から即興で会話を続ける。</p> <p>(1) ブレインストーミングでアイデアを練る。</p> <p>(2) 答えの文に1文を付け加えるところまで事前に準備する。</p> <p>(3) 教師と生徒のやり取りの例を見る。</p> <p>(4) When do you eat special food?から即興でやり取りを行う。</p>	<p>ペア</p> <p>・即興でやり取りする際の手掛かりや注意事項をスライドで示す。</p> <p>評価2 方法：机間指導、観察 即興で会話を続けることができたか。</p> <p>対策：スライドで例文を示してペアで考えさせる。</p>
ま と め	<p>7 ミクとベンになり、教科書本文を最初から読んで、最後は即興で会話を続けよう。</p>	<p>7 4人1グループとなって、会話をを行う。</p> <p>A: ミク役                      B: ベン役 C: ミクの合いの手+ミクのチェッカー D: ベンの合いの手+ベンのチェッカー</p>	<p>グループ</p> <p>・帯活動で行っているチャットシートを使用する。 ・3人グループはCとDの役割を兼任する。 ・会話は1分間で行い、終了したら役割をローテーションする。</p>
	<p>[教科書パート](30秒間) C: What is this dish? (合いの手) A: This is Osechi. It is Japanese New Year's food. C: Wow, Osechi has a lot of food. (合いの手) A: Every dish has special meaning. For example, kobumaki means "joy." . . .</p> <p>[即興パート](30秒間) A: When do you eat special food? B: I eat special food on my birthday. I eat cake with my family. How about you? A: I eat special food on my birth day, too. I get a present on my birthday.</p>	<p>8 即興で話した部分を書いてまとめる。</p> <p>・ I eat special food on my birthday. I eat cake with my family. How about you?</p>	<p>個</p> <p>・時間がない場合には家庭学習の課題とする。</p>